



学校だより

あられるいずみ

令和2年7月10日
練馬区立大泉西中学校
令和2年度7月号

本当の支援

校長 鈴木裕行

以前、最寄り駅からの帰宅途中で車いすの青年によく会いました。よく会うとはいつでも、知り合いでもなく、たまたま同じ時間帯に帰宅方向が同じただけでした。時には駅の改札近くで、時には我が家の近くの路上で、私はいつも追い越していました。青年は自力で車椅子を動かしていました。歩いている人がどんどん追い越せるくらいの速さでした。徒歩で10分の道を1時間くらいかける感じで、とてもゆっくりでした。

ある雨の日の夜、ゆっくりと帰路を進む青年を見かけました。青年は雨具を着けていましたが、ずぶ濡れでした。その様子を見て、私は衝動的に「途中までですが、押ししても良いですか。」と声をかけました。青年は了承してくれましたが、私は特に会話することもなく、自宅近くの分かれ道まで車いすを押ししました。その後も時折見かけていましたが、声をかけたのも車いすをpushしたのもそれきりでした。お互いに生活のペースが変わったからでしょうか、青年を見かけることはなくなりました。

この出来事を振り返ると、私は今でもいたたまれなくなります。あの時に声をかけたことが良かったのか悪かったのか。あの時だけで終わってしまって良かったのだろうか。雨であっても青年はいつもどおりに自力で移動したかったのではないだろうか。青年が困っていたかどうかは分からないので、手伝ったのは私の気持ちのためだったのではないだろうか。青年はお礼を言ってくれたけど、誰かに車いすをpushしてもらおうということは、いつもお礼を言うことばかりになるけど、どのように思っているのだろうか。

「支援」という言葉があります。類義語を調べれば、「補助・助ける・手伝える・補佐・手助け・力添え・助成・合力・援ける・アシスト・援助・助力・加勢」など、いろんな意味合いでたくさん出てきます。誰かを支援しようとする時、その人のことを第一に考えるのは当然です。頭では分かっているつもりでしたが、車いすの青年との出来事を振り返ると、分かっていた自分がいまいます。青年はたとえゆっくりであっても、自力で移動する生活をしていけば、常に誰かにお礼を言い続ける立場でいなくても良いのです。ゆっくりで時間のかかる移動も、自分の生活スタイルとして自ら選択したことだと考えることもできます。誰かを支援するという事は、その人が自分で努力している時には、その努力を尊重しなければいけないのかもしれない。

ボランティアの精神には、自分からすすんで行動する「自主性」、共に支え合い学び合う「社会性」、見返りを求めない「無償性」、より良い社会をつくる「創造性」の4原則があります。防災の考えには、「自助」や「共助」という言葉があります。教育という言葉には「育む」があります。自分で頑張ることが基本で、そのうえで本人の求めがあることが大事なのかもしれません。あれこれ考えていると、車いすの青年とのできごとは、車いすをpushせずに一緒に歩きながら世間話をするだけでも良かった気がします。青年の気持ちを聞いていないので、答えは出ていません。



英語検定に取り組む

英語科担当

7月17日（金）に第1回の英語検定を行います。本校の英語検定実施のねらいは次の4点です。

- ① 英検合格という目標が学習の動機となり、さらに努力の成果が客観的に評価されることで自信が付き、学ぶ意欲の向上につながる。
- ② 試験問題が中学校での学習内容を考慮して作られているため、英語力の基礎を固めるのに有効である。
- ③ 3級以上を持っていると、高校入試の際、多くの私立高校で優遇措置がある。
- ④ 準会場実施によって、検定料、会場面で受検しやすい環境をつくることのできる。

例年は、準会場として全ての受検生徒が本校で一次試験を受けられます。今年度の第1回については、新型コロナウイルス感染症の対応のために、3年生のみが一次試験を本校で、二次試験は大泉中学校で実施します。

練馬区では、平成30年度から中学3年生に、令和2年度からは2年生の第3回検定について、検定料が一人につき1回、全額を練馬区が補助しています。英検を受けるための環境は充実しています。自分の英語力を高めるため、次回の検定にも挑戦してみたいはかがでしょう。

漢字検定に取り組む

国語科担当

7月10日（金）に本校を会場とした第1回の漢字検定を行います。漢字は継続的に学ぶと良いものです。漢字が苦手な生徒の多くは、継続的な取組を苦手とする人が多い傾向があります。人間の記憶力は素晴らしいものですが、たくさんのを忘れてしまうものでもあります。日本語（国語）を学ぶうえで、漢字は大人になるまでに習得しておきたいものの一つです。

3年生では、高校入試に向けて漢字検定を受ける生徒が多くいます。入試では、中学校卒業程度の3級もしくはそれ以上の受検を推奨しています。特に私立高校では、国語の能力に加味して評価する場合もあります。

漢字検定は年間3回を予定しています。自分の漢字のスキルを高めていく上でも、挑戦してみたいはかがでしょう。

スマホ家庭ルール定着週間（7/6日（月）～7/11（土））

生活指導主任

今はインターネットにつながる電子機器が普及して、便利な世の中になりました。中学生でスマートフォンを持つことは珍しいことではなくなり、本校でも年々、所有率は上がっている印象を受けます。生徒の所有率が向上することに伴い、ラインやツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などによるトラブルも増えています。

本校では、ご家庭でもスマートフォンやSNSについて、使い方の約束や家庭のルールを確認し、トラブルに巻き込まれないように生徒の意識付けに向けた協力をお願いしています。その一つの方法として、スマホ家庭ルール定着週間を設けています。配布した案内やパンフレットを参考に、ご家庭で保護者と生徒がスマートフォンやSNSの使い方を確認し合う時間を設けていただき、生徒がこれからの情報社会の正しい担い手になるようご協力をお願いします。

新聞の寄贈を受けました

本校の学区域を配達区域にしている朝日新聞、東京新聞、毎日新聞、読売新聞の各販売店様より、

学校の教育活動に活用することを目的として、平日に、朝刊を各3部届けていただいています。この寄贈は、これまで長い間続いています。保護者や地域の皆様にご紹介するとともに、販売店の皆様にお礼を申し上げます。国語科や社会科、総合的な学習の時間など、新聞を活用して学習内容をより掘り下げたり、学校の学びを社会とつなげたりしていきたいと考えています。改めて感謝申し上げます。

第1回学校評議員会

7月11日(土)の午前10時から、第1回学校評議員会を開催します。学校評議員会は、区立の小・中学校が、「家庭、地域および関係諸機関と連携協力し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため」に設置する組織です。今年度は、右記の皆さんにお願いしています。

学校評議員	
	西大泉連合町会／二丁目町会副会長
	大泉第四小学校 PTA 会長
	本校元 PTA 副会長／学校支援コーディネーター
	青少年育成大泉西地区委員会会長
	大泉西小学校 PTA 会長
	大泉第三小学校 PTA 会長
	本校 PTA 会長／練馬区青少年委員
	東京女子体育大学教授／元練馬区教育委員会教育指導課長

学校評議員会は、7月、10月、2月の年3回を予定しています。学校経営計画の取組状況や学校の状況、学校評価等について、授業参観や学校の報告を通じてご意見をいただき、学校に対する保護者や地域、社会のニーズが学校の教育活動に反映できるよう取り組んでまいります。

★★★7月の予定★★★

日	曜日	予 定	給 食		
			I	II	III
1	水	専門委員会、選挙管理委員会、心ふれ	●	●	●
2	木	心ふれ	●	●	●
3	金	復習確認テスト(3)	●	●	●
4	土				
5	日				
6	月	全校朝礼、安全指導、スマホ定着週間(始)、時間割の変更(1・2校時⇄6・5校時)	●	●	●
7	火	SC	●	●	●
8	水	避難訓練、心ふれ	●	●	●
9	木	心ふれ	●	●	●
10	金	漢字検定	●	●	●
11	土	5時間授業(木曜日の2～6校時の教科)、3年生保護者会(15:00～)、スマホ定着週間(終)、学校評議員会	●	●	●
12	日				
13	月	定期考査1週間前、部活動なし(始)	●	●	●
14	火	SC	●	●	●
15	水	6校時目(月3授業)、心ふれ	●	●	●

日	曜日	予 定	給 食		
			I	II	III
16	木	心ふれ	●	●	●
17	金	英語検定	●	●	●
18	土	土曜授業(火曜日の1～5校時の教科)、1・2年生保護者会(15:00～)	●	●	●
19	日				
20	月	定期考査1(国・数・英・社・理)	●	●	●
21	火	SC	●	●	●
22	水	専門委員会、部活動なし(終)	●	●	●
23	木	海の日			
24	金	スポーツの日			
25	土				
26	日				
27	月		●	●	●
28	火		●	●	●
29	水		●	●	●
30	木	心ふれ	●	●	●
31	金	6校時：終業式	●	●	●

※SC：スクールカウンセラー、心ふれ：心のふれあい相談員
相談室直通携帯電話：090-3213-4235

